

# 『さっきやま魂』

R4. 1. 26 第19号

発行人：校長 中山 未永

## チャレンジ!

「今日、記録会だよね。」  
玄関での会話を聞きながら、  
子ども達の様々な思いを感じ  
ることができました。

「きついから、できれば走りたくないなあ」「自分の目標に向かって頑張ろう」等々、走ることが苦手な子どもは、きっと憂鬱な気分に登校してきたことでしょう。

記録会の目的は下記の通りです。

- 自己の体力を知り、**目標**をもって体力向上に取り組むこと
- 走ろう運動を充実させ、**自主**（自ら考え行動する子）の心を育てること
- 錬磨**（粘り強くあきらめない子）の心を育てること

走る距離は、低学年（800m）・中学年（1000m）・高学年（1200m）とし、友達との競走ではなく自分の記録への挑戦です。つまり、大切なものは「順位」ではなく、一人一人の記録の伸び「**変容**」ということになります。

昼休みが終わり、いよいよ「持久走記録会」の時間となりました。感染対策のため、まずは十分な間隔をとって準備運動、そして低・中・高学年に分かれてスタートラインに並び、一斉にスタート。笑顔で走る子ども、自分のペースを守りながら黙々と走る子ども、苦しい表情を見せながらも必死に走る子どもなど、いろんな顔を見ることができましたが、みんなそれぞれに良い表情でした。走り終わった子ども達は、大きな声を出しての応援はできませんが、力強い拍手で最後まで頑張り続ける仲間を応援し、全員が無事に完走することができました。

今回は1回目なので、この記録が一人一人のチャレンジへのスタートラインということになります。2月の記録会では、「**1秒でもいいから記録を伸ばす**」という気持ちで、毎日の走ろう運動に取り組んでほしいと思っています。

3学期になり、朝から走る子どもが増えています。また、これまで以上にたくさん走っている子どももいます。きついことや苦手なことがあったとしても、そこから逃げ出すことなく、自分なりに前向きに挑戦しようとする「**たくましい心**」をもつ子どもに育ててほしいと願っています。



自主の心 (走ろう運動)



錬磨の心 (持久走記録会)

## アンケートへのご協力を

先日、五島市教育委員会より「五島市小学校・中学校の適正規模・適正配置について」（裏面参照）の説明がありました。それに伴い、2月中旬以降に「学校の今後のあり方についてのアンケート」を該当校で実施するという事です。

市教委の説明によると、このアンケートの主な目的は、①「児童・生徒数の推移等について、該当校の児童・生徒、保護者、地域等へ知っていただき、学校の今後の在り方について考えていただくため。」②「市教委が、①における児童・生徒、保護者、地域等の考えを把握するため。」であり、統廃合についての現状は全くの白紙であるとのことです。

アンケートの対象は、児童・保護者・地域住民・教員となっていますので、実施の際は保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。